



新年度スタートしてから2か月。環境の変化や大型連休を経て子供さんもすっかり新しい環境に馴染んで来られたのではないのでしょうか。春から初夏、梅雨と子供さんたちが季節の移り変わりを体感するにはよい時期ともいえます。ですが、気温・湿度ともに上がり汗ばむ季節でもあります。汗対策をはじめ、健康管理は十分気を付けていきましょう。

RS ウイルス感染症とは？

小さい子供ほど重くなりやすい、ウイルスによる呼吸器の感染症で2歳までにほとんどの子供がかかる代表的な風邪のウイルスです。

主な症状：発熱、鼻水・鼻詰まり、咳
(このような風邪症状が出現し多くは数日で軽快します。)

* 注意 *

月齢が低い赤ちゃん (特に6か月未満) で

- 機嫌が悪い ● 元気がない ● 咳がひどい
- 母乳やミルクの飲み方が悪い

などの症状があるときは かかりつけ医に相談しましょう。

予防：感染経路は飛沫感染と接触感染です。子供同士での咳やくしゃみを介して感染しますので、しっかりと手洗い・うがいをすることが重要です。マスクの着用も有効です。

この時期によく聞かれる病児あるある Q&A

Q: 熱があるときの子供の服装・また室温はどのようにしたらいいですか？

A: この時期、湿度も高くジメジメしていて気温の寒暖差もまだあり、生活するうえで過ごし辛い季節でもあります。私たちが保育するにあたり気を付けていることは 快適に過ごしてもらうことです。 衣服や室温の調節は、子供さんの首元・額・背中などに触れ、べたついている時は汗ばんでいることが多いので、衣服を薄手の物に着替えたり、1枚脱がせたり、エアコンの室温設定を下げたりします。逆に手足が冷たく感じるときは、室温を上げたり衣服を1枚多く着せたりしながら様子を見ます。これはあくまでも目安です。必ずということではありません。

一番大事なのは子供さんの様子をしっかりと見てあげることです。色々工夫しながら梅雨の時期を乗り越えていきましょう!!

4月・5月の病児利用者は、**急性上気道炎・気管支喘息・ヘルパンギーナ・インフルエンザ A 溶連菌感染症・嘔吐下痢・RS ウイルス感染症**でした。

病児に関して気になる方はお気軽にお問い合わせください。